

フレイベル歿後

百年を記念する二つの催おし

この六月を中心とするフレイベル百年記念の行事は各地に行われ、いずれもこの幼唱教育に不滅の燈火を掲げた偉人の遺徳を顕揚す

るにふさわしい盛大さを以て終始したが、特に東京においては、左の二つの催おしが極めて盛大、有意義に開催せられた。

(i) 日本幼稚園協会・日本保育学会
東京都保育会・東京都私立幼稚園協会 主催

フレイベル百年記念講演會

これは六月二十三日(土)午後一時半よりお茶の水女子大学講堂において開催せられたが、定刻前後には遠くまた近くの職場から、或いは学校、研究室から、大きな期待に胸ふくらませながらあつまる人々五百を以てかぞえ、腫を輝やかして開会のベルをまつ。演壇背面には倉橋本誌主幹がブランケンブルヒヨリ特に持ちかえつたフレイベルの肖像を掲げ右手前面には寺内万治郎画伯画くところの子供と遊ぶフレイベルの絵が掲げられてある。定刻を少しく遅れて開会が宣せられ倉橋講師登壇、開会の挨拶に代えてフレイベル遺跡巡礼

の思い出を語る。例によつて淡々たる中に滋味溢る、の名調子、聴衆は遙に遠くツウランギアの森に遊ぶ思い、多大の感銘を残して降壇、つゞいて海後、石山兩教授、夫々「新らしきフレイベルの発見」「フレイベルと現代教育の理念」の演題の下に、長講二時間にわたる熱辯に、遊堂は今やフレイベル一色に塗抹せられ、この偉人の風貌を眼前に髣髴たらしめる思いの中に、講師夫々に降壇、最後に山下教授方雷の拍子の中に閉会の辞を述べ、深い感激の中にこの催おしはおわつた。

(ii) 東京都私立幼稚園協会 主催
東京都国立幼稚園団体

フレイベル百年記念大會

これは六月十六日(土)午前九時より読売ホールにおいて開催、夜來の雨も、この意義ある催おしを思つてか、朝にはやみ、降らず照らずの絶好の行事日和定刻九時にはさしものひろい読売ホールも、座席を殆んど埋めつくす来会者に、早くもこの日の催おしの盛大さを思わせる。定刻片谷東京私幼協合理事長開会の挨拶をのべ、この記念すべき日を境に、更に新たなる保育への精進を誓う。つゞいて青柳全国私幼協合理事長の祝辞、また、長田広島大教授は「フレイベル教育学の根本問題」なる演題の下に、生涯を賭けられたフレイベル研究の蘊奥披靡に、聴くものは思わず襟を正す。かわつてフレイベルの孫弟子ともいふべきキュッリヒ女史立つて、短艇ながら全身これ信念、渾身聴衆にその気魄を叩きつけるような熱辯を以て「幼稚園に立つものの使命」を説き去り説き来たり、聴衆を思わず吐息をはかしめる。これを以て第一部をはり午後一時よりはキングレコード、国立音楽大学有志をはじめとする多彩なりクリエーションの演出、わくが如き感激の中に、午後四時三十分この意義ある催おしはとちられた。